

木津川市立図書館協議会 会議経過要旨

会議名	令和7年度第2回木津川市立図書館協議会														
日時	令和7年11月28日（金） 午後1時30分～午後3時30分	場所	三重県亀山市立図書館												
出席者	<table border="0"> <tr> <td>委員</td> <td>■米田 崇会長</td> <td>■下浦悦子副会長</td> <td>■池田加津子委員</td> </tr> <tr> <td>■：出席</td> <td>■福森真知委員</td> <td>□中村景子委員</td> <td>■橋本京子委員</td> </tr> <tr> <td>□：欠席</td> <td>■杉本秀子委員</td> <td>■河合正俊委員</td> <td>■田中啓之委員</td> </tr> </table>	委員	■米田 崇会長	■下浦悦子副会長	■池田加津子委員	■：出席	■福森真知委員	□中村景子委員	■橋本京子委員	□：欠席	■杉本秀子委員	■河合正俊委員	■田中啓之委員		
委員	■米田 崇会長	■下浦悦子副会長	■池田加津子委員												
■：出席	■福森真知委員	□中村景子委員	■橋本京子委員												
□：欠席	■杉本秀子委員	■河合正俊委員	■田中啓之委員												
事務局	久保図書館長、神田中央図書館係長、西山中央図書館担当係長、中川山城図書館担当係長														
議題	① 亀山市立図書館管外視察研修 ② 意見交換 ③ その他 ・次回の協議会について														
会議結果要旨	1 開会 開会宣言 委員9名中、8名の出席により、会議が成立していることを確認した。 2 亀山市立図書館館長あいさつ 高重館長より視察研修に対する歓迎のあいさつがあった。 3 議題 ①亀山市立図書館管外視察研修 図書館内を回り、説明を受けた後、図書館の概要説明があった。 ②意見交換 木津川市立図書館協議会委員から質疑があった。 ③会長あいさつ 米田会長から研修に係るお礼のあいさつがあった。 ④その他 次回の協議会について事務局から令和8年2月27日（金）中央図書館視聴覚室での開催を提案した。 開催日及び開催場所の了解を得た。 4 閉会														

<p>会議経過要旨</p> <p>◎：会長 ○：委員 ■：館長 □：事務局 ⇒：亀山市</p>	<p>1 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2 亀山市立図書館館長あいさつ 高重館長より視察研修に係る歓迎のあいさつがあった。</p> <p>3 議題</p> <p>① 亀山市立図書館管外視察研修</p> <p>【資料】 亀山市立図書館の整備 プロジェクト使用での映像資料・スクリーン資料</p> <p>【説明】 最初に館内を回り説明を受けた後、資料に基づき図書館の概要説明が あった。</p> <p>② 意見交換</p> <p>○：システム導入費が1億1千万円ほどかかっているが、どのような内容な のか。 ⇒：ICタグの貼布と併せてシステムの導入をしている。 NECネクサスソリューションズのシステムを使用しており、その部分 が約9,000千万円、引っ越しやICタグの貼布等に係る経費が約1, 000万円ほどかかっている。 書籍の移動を行い、短期の派遣アルバイトがICタグを貼布してシス テム登録する作業をまとめて請け負ってもらった。</p> <p>○：自動貸出機を導入されているが、利用割合はどのくらいなのか。 ⇒：約87%になる。 残りの13%は主に他の図書館との相互貸借になり、直接処理をして いる。また、延滞等で通らない場合もある。 市民と直接コミュニケーションを取らなければならぬケースもあるの で、そういう内容のものが該当し、窓口で対応することになる。</p> <p>○：自動貸出機の設置で工夫していることは。 ⇒：カウンターの近くに設置すると、どうしても直接カウンターに貸出等に 来られるので、カウンターから少し離れた、カウンターから利用者の状 況が確認出来る距離感で設置している。 最初利用方法が分からぬことから始まり、繰り返し説明をして、利用 者の方も慣れてきて、現在の距離感での設置になってきている。 最初の1年間は利用者に説明することが非常に多かった。</p>
--	--

○：子どもの読書手帳と自動貸出機の連動はどうなっているのか。
⇒：カウンターに図書館利用カードを持ってくるとシールが出してもらえるので、それをご自身で貼っていただく形になる。
主に児童向けの2階のカウンターで対応している。
自治体によっては、手帳に直接印字する形の図書館もあるようである。

■：図書館の管理について、委託されているが、TRCを選ばれた理由はあるのか。
⇒：プロポーザル方式を採用した。

○：何社応募があったのか。
⇒：2社応募があったが、最終的に1社になった。
もう1社は伊勢にある会社だったと思う。
確かに学校図書館の運営で実績のある業者で、この2社くらいが図書館運営で実績のある業者である。

■：書籍の購入もTRCからになるのか。
⇒：購入はリブネットからになる。
県内でTOHAN（トーハン）を利用しているのは1市1町だけである。
県内には全29市町あるが、他はTRCになる。

○：駅前に移転してから利用者は増えたのか。
⇒：どこの自治体であっても中高生は貸出が少ない世代だと思う。
全体として来館者数は3倍、貸出冊数は1.5倍になった。中高生の利用も多少は増えた感じである。

○：夜はどのような感じなのか。
⇒：この地域は車社会であり、駅ロータリーへの送迎が多いが、ある程度の時間までは図書館で勉強してから帰宅するということが増えたと感じている。
駅に電車が到着したときに、たくさんの学生がやって来る。
来館者数の流れは、土日、平日とも同じような流れで、午前10時頃からお昼にかけて増えていき、午後2時、3時をピークに、夜に向けて緩やかに減っていく感じである。

■：館内に漫画が配架されているが、選書の基準はあるのか。
⇒：選書基準はある。
エログロは避ける、完結作品にする。あとは受賞作品やメディア化されたものを中心としている。

	<p>原則として、館内で読んでいただくものであり、まだ手探りのところがあり、新鮮味を大切にしているので、定期的に入れ替えるようにしている。</p> <p>入れ替えした物は、貸出出来る書架に配架している。</p> <p>◎：自動返却の仕組みはどのようなものなのか。</p> <p>⇒：滑り台のようなものを滑るのだが、その中にＩＣタグを読み取る装置があり、そこを通ると貸出冊数が減っていくシステムとなっている。</p> <p>これが仮返却になる。</p> <p>その後、職員が本の中身を確認し、本返却の処理をすると返却が完了する。</p> <p>◎：返却するのはボックスになるのか。</p> <p>⇒：ボックスになり、滑り台があり、ＩＣタグを読み取る装置が付いている。ただ、書籍の内容で返却場所を振り分けるようなものではなく、あくまでも返却を確認するものである。</p> <p>自治体によっては振り分ける機能の付いた返却ボックスもあるようである。</p> <p>■：図書の配送サービスはしているのか。</p> <p>⇒：していない。</p> <p>図書館と学校との間では、シルバーハンモックセンターを利用して配送している。</p> <p>○：図書ボランティアの人数とボランティア内容はどのようなものなのか。</p> <p>⇒：個人としては10名ほど登録いただいており、団体としては以前から数団体登録いただいている。</p> <p>個人として登録しているが、団体としても登録している人もいる。</p> <p>内容であるが、一番多いのは書架整理ならびに返却であり、次に図書の修理等になる。</p> <p>年に2回、ボランティア研修を行っており、職員とともにボランティアの方にもスキルアップしてもらう機会を設けている。</p> <p>○：図書館の事業の企画運営は職員が行っているのか。</p> <p>⇒：基本的に、各団体が企画提案したもの踏襲して、学びの場としての図書館に即した形で実施することになる。</p> <p>図書館らしい、そして他の図書館で実施していないようなものも含め、基本的には照会については断らない姿勢で、積極的に受け入れており、</p>
--	--

	<p>多くの事業を展開している。</p> <p>場所貸しはしておらず、あくまでも図書館との共催との考え方に基づいている。</p> <p>○：移動図書館はしていないのか。</p> <p>⇒：以前は所有していたが、現在はない。</p> <p>隣の鈴鹿市では、公民館で書籍を返却出来たり、リクエスト出来たり、車で行くのではなく、市内のいろんな箇所に拠点を作っていくという取り組みをされている。</p> <p>当市では旧図書館は2館体制、現在は1館になっている。</p> <p>1館は読書活動拠点として整備し、職員が常駐していたが、それをここに集約した。</p> <p>分館については、月に2回程度職員が出向き、図書の整理を行っており、そこは自由に入り出来るコーナーとして整備している。</p> <p>○：今後その分館はどのように運営していくのか。</p> <p>⇒：地元のまちづくり協議会とも、今後の運営について協議を行っている段階である。</p> <p>○：学びの場からつながる場へ、知る、学ぶ、楽しむということを基本理念とされているが、どのような手法を考えておられるのか。</p> <p>⇒：こちらに相談来ていただくこともあります、こちらから相談に伺わせていただくこともあるし、あらゆる場面でと考えている。</p> <p>職員が5名しかおらず、多くの事案に対応することになるので、能力を求められることも多い。</p> <p>○：教育委員会や外側との間の連携で苦労されている最中だと思う。</p> <p>⇒：まさにこれからの話になる。</p> <p>一番連携しやすいのが、例えば公の病院であったりとか、出前講座等によりコミュニケーションが取りやすい。</p> <p>他に、民間の企業も、新しい図書館が出来たということもあり、そこに寄贈したいといった相談にも来られる。</p> <p>その際、雑誌スポンサー制度の話もさせていただき、費用的にもそれほどかからないので、お願いさせていただくことが多い。</p> <p>その時は、企業関係の書籍のスポンサーになりたいということが多いので、病院であれば健康関係の書籍、自動車であれば自動車関係の書籍を入れたいと言われることが多い。</p>
--	---

	<p>○：グレーの服を着ているのがTRCからの派遣職員になるのか。</p> <p>⇒：その通りである。</p> <p>○：TRCに職員派遣を委託しているが、どのくらい費用がかかっているのか。</p> <p>⇒：年間7,000万円程になる。</p> <p>○：その経費はどこから読み取ることが出来るのか。</p> <p>⇒：説明した資料の中では示されていないのだが、図書館の運営に係るランニングコストとして、年間1億5,000万円ほどかかっている。</p> <p>その半分程度が人件費になる。その他清掃スタッフの経費もある。</p> <p>③ その他</p> <p style="padding-left: 2em;">次回の協議会について</p> <p style="padding-left: 2em;">会議結果要旨のとおり。</p> <p>4 会長あいさつ</p> <p style="padding-left: 2em;">会議結果要旨のとおり。</p> <p>5 閉会</p>
その他特記事項	以上